



ジャパンカップのメイン集団

シクリスムエコー No.164 2009年11月号



2009 ジャパンカップ・サイクルロードレース ..... 2



シリーズひと③ ..... 5  
第12回全日本自転車競技選手権大会トラックレース ..... 6



国内自転車競技場の紹介 (その3) ..... 8  
シリーズひと④ ..... 9

ACCトラック・アジアカップ2009タイラウンド ..... 10

アンチドーピングについての基礎知識 その3 ..... 11  
競技大会結果 ..... 12  
地区プロ選手権大会結果 ..... 13  
各海外大会 日本代表選手団 ..... 15  
加盟団体だより (3) ..... 15  
2009年アジアMTB選手権大会 日本代表選手団 ..... 16  
JCFトラック・ロード 強化指定選手の追加 ..... 16  
第1回ユースオリンピック競技大会 日本出場枠獲得 ..... 16  
日本新記録 ..... 16  
連盟の動き ..... 16



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

# 2009 ジャパンカップ・サイクルロードレース

サクソバンクのセレンセンが優勝!

KEIRIN 00  
この大会は競輪の補助金を  
受けて実施されました



サクソバンクのセレンセン

## セレンセンが逃げ切り、 新城は 28 位に終わる

12 年前、'97 年のこのレースで 4 位に入賞しそのレースを最後に現役引退したのが、この大会でも場内中継の解説を務める今中 大介氏。氏は '96 年に日本人初のツール出場も果たしているが、今年日本人として 13 年振りにツールに出場し第 2 ステージで 5 位入賞、見事ツールを完走した新城 幸也がピーボックス・ブイグテレコムのエースナンバー 11 を背負いジャパンカップに戻ってきた。その新城の人氣も手伝ったのであろう、昨年以上の観客が会場となる宇都宮森林公園に集まった。今中氏が引退した 12 年前の本大会では、阿部 良之(当時マペイ GB) が日本人唯一のジャパンカップ

優勝を果たしているが、それ以来の日本人優勝の期待も高まる。

昨年と同様スタート前に小雨が降ったがすぐに止み、気温はやや低めであるが曇り空のまずまずのコンディションの中、佐藤 栄一宇都宮市長の放つ号砲の下、レースがスタートした。

1 周目の古賀志林道で飛び出し頂上を制したのは梅丹本舗 GDR の福島 晋一。だが差はわずかであり下りで福島は吸収され集団のまま県道入口のポイントを通り、1km あまりの県道の平坦路に差し掛かる。アタックが掛かってペースが上がり、集団は縦に長い隊列になっている。平坦路終了の田野町

チームを立ち上げた廣瀬 佳正(ブリツェン宇都宮) の 5 名が、集団に 3 秒の差をつけて田野町交差点を左折する。

ここから続く細かいアップダウンで 5 名は集団との差を徐々に広げ始め、田野町から 1km の中坪(8km 地点)のポイントで差を 20 秒、2km の多気(9km 地点)のポイントで 1 分まで差を広げる。1 周目を完了した時点で先頭集団とメイン集団との差は 1 分 49 秒、メイン集団は静観の様相を見せこの状態がしばらく続くことになる。

1 回目の山岳賞が掛かった 3 周目の古賀志林道の上り、ここは 5 名から飛



日本ナショナルチーム



果敢に逃げる日本人 5 名

## 8 周目鶴カントリーの登りを行く集団



び出した畑中と山本のマッチレースになった。この争いを制したのは畑中で1回目の山岳賞を獲得。ここで小森が若干遅れたが他の4名は下りで一つの集団になり、一時35秒ほど差をつけられた小森もやがて復帰し先頭集団は再び5名となる。この山岳賞争いでメイン集団との差は2分50秒となったが、これがこのレースで先頭集団が後続につけた最大の差であった。メイン集団は主にプロツアチーム勢が前方を固め、先頭集団との差を1分50秒から2分30秒ほどに保ちコントロールされている。

6周目、2回目の山岳賞を獲得したのは地元宇都宮の廣瀬で、シマノに所属していた'07年以来の山岳賞獲得だ。廣瀬はゴールを決めたサッカー選手のようにジャージの胸のマークをアピールし、地元観客の大歓声にガッツポーズで応える。

先頭集団に変化が生じたのは7周目。古賀志林道で廣瀬と山本がやや遅れ、山頂でのメイン集団との差は1分まで短縮される。この後先頭集団は5名に戻り、メイン集団との差も1分50秒まで回復するが、ゴール前鶴カントリーの上り(14km地点)で廣瀬が完全に遅れ、先頭集団は4名となる。続く8周目の鶴カントリーの上りで遂にその差は1分を切り、8周完了時にはその差は41秒、いよいよ本格的な戦闘が開始された。

9周目、3回目の山岳賞はここまで健闘したU23の小森で、畑中に4秒の差をつけての山岳賞獲得。菊池と山本はやや遅れ、メイン集団との差は山頂で33秒。先頭集団は県道で4名に戻るが、田野町交差点を過ぎ1周目に先頭集団がアタックを決めたエリアで、今度はメイン集団が先頭との差を一気に詰める。多気のポイント

で差はわずかに5秒、先頭4名はこの後2kmその差をキープして抵抗するが、鶴カントリーの上りで一気に吸収される。

レースはこの後激しく動いた。10周目の古賀志林道で小アタックが繰り返され、ここで

ス、パプロ・ラストラス、ダニエル・モレーニョ(以上ケースデパーニュ)、クリスアンゲル・セレンセン(サクソバンク)、ヴァレリオ・アニョリ、イヴァン・サンタロミータ(以上リクィガス)、ファンセホ・コーボ(フジーセルヴェット)の7名の先頭集団が新たに形成される。新城はこの時点で後方7名の第2集団に位置しているが、その集団に新城のサポートメンバーは入っていないかった。

先頭集団は第2集団に15秒の差をつけて県道入口のポイントを通過。第2集団は県道で4名と3名に別れ、そこから新城とジョバンニ・ヴィスコンティ(ISD)が飛び出し先頭を追う。ヴィスコンティは昨年も追走集団から飛び出して先頭に追いつき2位に入っており、まるでデジャ・ヴュのようだ。たびたび振り向き背後の新城を気にするも、追走が日本人選手とあってはもはや自力で行くしかなく、先頭集団との差を5秒まで縮める。

勝負どころ10周目の鶴カントリーの上りでセレンセンとラストラスの2名が満を持してアタック、1名脱落した後続4名に4秒の差をつけて最終周回に入った。ヴィスコンティと新城の追撃も、鶴カントリーまでで終わった。ヴィスコンティは先頭集団から脱落した、昨年までのチームメイトであるアニョリとのランデブー走行を決め込んだ。

最後の古賀志林道の上りでセレンセ

ンがアタック、ラストラスは後方から追いついたロドリゲス、モレーノ、サンタロミータ、コーボと第2集団を形成する。遅れたラストラスにとってはチームメイト2名が加わるこの集団は心強い。山頂で差は4秒、下りきった県道入口で差は15秒。だがラストラスは県道で再度追い上げを試みるも追いきれない。差は約20秒、ラストラスが追いつけないとなると、このタイム差でもセレンセンの優勝の可能性が高くなる。過去のレースを振り返るとこの展開の場合は、後方集団は牽制の色合いが強くなり逃げ切られるパターンが多いのだ。ここからは勝負どころとなるような上りは無く、逃げて



いる方は自分のペースで走り切ることができる。ジャパンカップに出場する選手は、全てがそのレベルにある。果たしてレースはセレンセンがそのまま逃げ切って優勝、24秒差でモレーノ、サンタロミータ、コーボの順でゴールし、ラストラスは5位。日本人最上位は2分9秒差の鈴木真理(シマノ)が9位、新城は28位に終わった。

必死に先頭を追う新城



喜びを表す  
3選手

## オープンレース 沖無き女子は萩原が制す

ジャパンカップの前日に行われた男子女子オープンレース。昨年まで9回優勝と圧倒的な強さを見せた沖美穂が引退した女子オープンレース(42.3km・出走27名)は、最後の鶴カントリーの上りで西加奈子(千葉)、片山梨絵(スペシャライズド)、崎本智子(日本食研)を振り切った萩原麻由子(あさひ)が、3年振り2回目の優勝を飾った。

80.8kmの距離を178名で争われた男子オープンレースは、終盤飛び出した野中竜馬(広島)が逃げ切れず残り2kmで吸収され、このレースでは比較的珍しい集団でのスプリント勝負となった。スプリントを制したのは大塚潤(静岡)で、木守望(京産大)が2位、高校生の寺崎武郎(福井商高)が3位となった。



今年もジャパンカップの会場には昨年以上の大観衆が集まった。レース一番の見所となる古賀志林道の上りには、道路両脇に溢れんばかりの人また人。頂上付近にはスタート前にして身動きが取れないほどのロードレースファンが集まり、観戦不可能なのでこれ以上頂上に向かわないようにとのアナウンスが場内に再三放送される始末だ。一般マスコミの取材も多く、ロードレースが注目されるイベントになったことは喜ばしいが、この状態では万が一山の斜面が崩れてもしたら大事故に繋がりがかねない。3年前に観戦が有料化され物議を醸したが、ジャパンカップをこの先続けていくためには古賀志林道コースサイドの、整備の必要性が認められるのではないだろうか。(村田 隆宣)



女子オープン  
のチャンピオン萩原



男子オープン  
のゴールスプリント (左端が勝者の大塚)

【競技結果】

2009 ジャパンカップ サイクルロードレース  
(2009/10/24-25 栃木・宇都宮)

個人ロードレース (151.3km)

- 1 SØRENSEN, Chris Anker SAX 4:06:19
- 2 MORENO, Daniel GCE 4:06:43
- 3 SANTAROMITA Villa, Ivan LIQ 4:06:43
- 4 COBO, Juan Jose FUJ 4:06:43
- 5 LASTRAS, Pablo GCE 4:07:00
- 6 RODRIGUEZ, Joaquin GCE 4:07:19
- 7 AGNOLI, Valerio LIQ 4:07:45
- 8 VISCONTI, Giovanni ISD 4:07:45
- 9 鈴木 真理 SMN 4:08:28
- 10 LARSSON, Gustav Erik SAX 4:08:28
- 20 土井 雪広 山形 スキルマン 4:09:20
- 35 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 4:15:08
- 41 小森 亮平 広島 Livestrong 4:18:31
- 47 青柳 憲輝 栃木 法政大学 4:18:31
- 48 西菌 良太 鹿児島 東京大学 4:18:31

オープン男子 (80.8km)

- 1 大塚 潤 静岡 2:08:25
- 2 木守 望 和歌山 2:08:25
- 3 寺崎 武郎 福井 2:08:25
- 4 梶尾 大知 東京 2:08:25
- 5 内間 康平 沖縄 2:08:25
- 6 松尾 修作 東京 2:08:25
- 7 奈良 基 宮城 2:08:25
- 8 早川 朋宏 愛知 2:08:25
- 9 鎌田 圭介 東京 2:08:25
- 10 岩島 啓太 東京 2:08:25

オープン女子 (42.3km)

- 1 萩原麻由子 大阪 1:17:46
- 2 片山 梨絵 神奈川 1:17:52
- 3 崎本 智子 愛媛 1:17:52
- 4 西 加南子 千葉 1:18:01
- 5 豊岡 英子 大阪 1:18:57
- 6 石井 寛子 茨城 1:20:11
- 7 青野 奈美 宮城 1:20:11
- 8 井上 玲美 東京 1:20:11
- 9 金子 広美 東京 1:20:11
- 10 森田 正美 神奈川 1:20:24



坂本 陽一

サカモト ヨウイチ

UCI, JADA ドーピングコントロールオフィサー  
JCF アンチドーピング委員会委員  
UCI 国際コミッセール

UCI 国際コミッセールとして活躍した後、アンチドーピングの世界へ進む。  
日本国内はもとより、アジアにおけるアンチドーピング界の第一人者。  
(写真はジャパンカップでの一コマ。) 敬称略

人  
シリーズひと③

日本航空

Dream Skyward. JAL

世界の空でお会いしましょう。



www.jal.co.jp

チームスプリント、大会新で優勝した強化チーム



## 第12回全日本自転車競技選手権大会トラックレース

深谷が金メダル2、銀メダル1!!

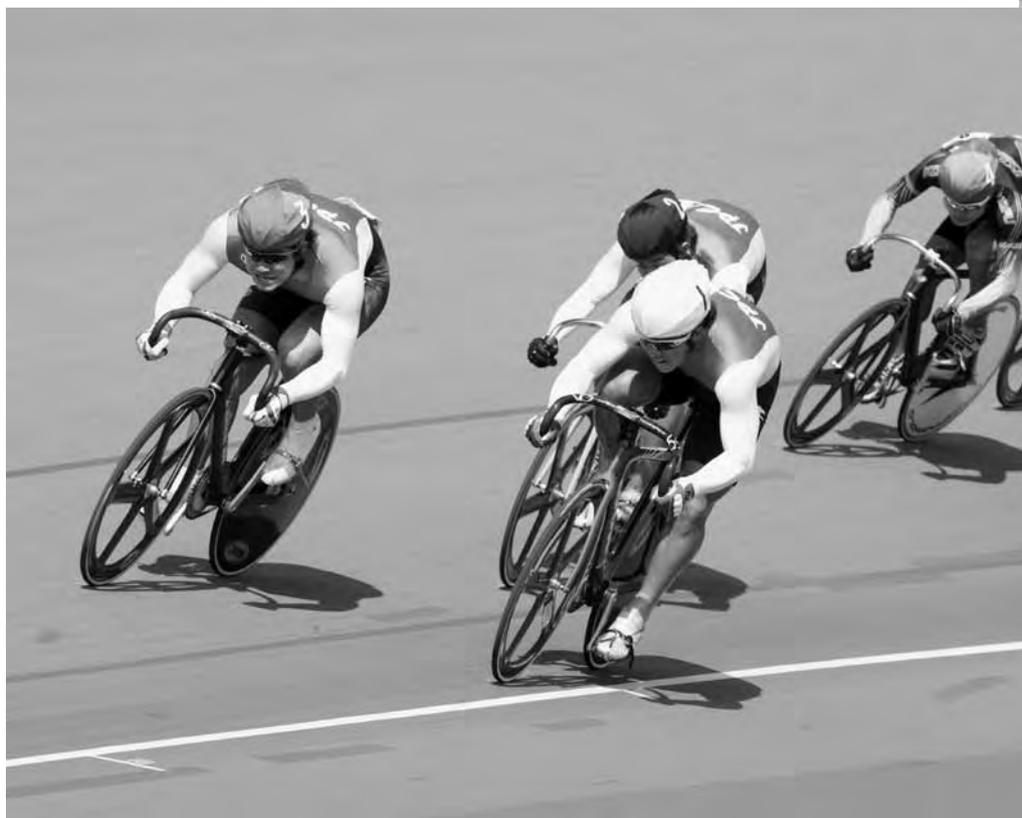
昨年、走路を全面的に改修した山梨県の境川自転車競技場において、10月17～18日の2日間、第12回全日本自転車競技選手権トラックレースが開催された。

選手数の関係でスクラッチとマディソンが行われず、またその他の種目においても出場選手が少なく、全般的に寂しい大会であったことは否めない。

しかし、新しい走路のおかげか大会新記録が続出した。初日、女子3km個人追抜競走予選で和田見が3分58秒158、男子チームスプリント予選で強化チーム(坂本、脇本、深谷)が1分15秒040の大会新記録を出す。その後、女子個人追抜の決勝で和田見が予選タイムを上回る3分55秒445で記録を更新。

翌日の男子チームスプリントでも、強化チームが予選タイムを上回る1分14秒230で記録を更新した。

また競輪界で活躍中の深谷は、スプリント1位、ケイリン2位、チームスプリント1位とその実力を覗かせた。



競輪選手が上位を占めたケイリン(左端が勝者の坂本)

3km 個人追抜、大会新記録で4連覇した和田見



スプリント決勝 (左が勝者の深谷)

4km 個人追抜競走 3年ぶり4度目の優勝、飯島規之



女子スプリント決勝 (右が勝者の前田)



雨に見舞われたポイントレース (左がこの種目4連覇の飯島誠)

団体追抜優勝の岐阜チーム

1kmTT 優勝の坂本



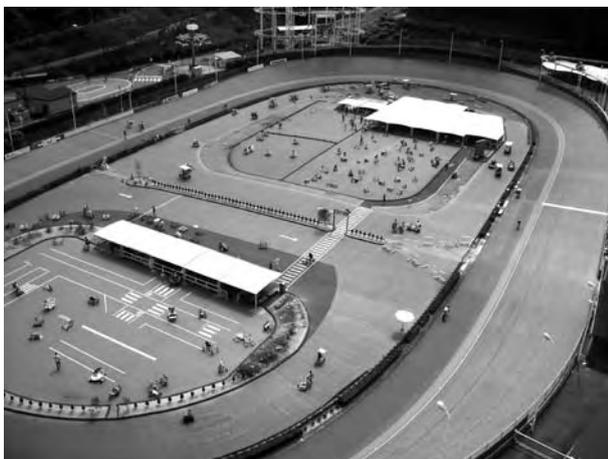
500mTT、2連覇の前田



女子ポイントレース(右端が勝者の森本)

## 国内自転車競技場の 紹介(その3)

競技場名: 関西サイクルスポーツセンター  
住 所: 大阪府河内長野市天野町1304  
電 話: 0721-54-3100 (大代表)  
周 長: 400メートル  
幅 員: 8メートル  
路面傾斜: (最大) 37度  
ホームページ: <http://www.kcsc.or.jp/>



**【競技結果】**

**第12回全日本自転車競技選手権トラックレース  
(2009/10/17-18 山梨・境川自転車競技場)**

**男子スプリント**

- 1 深谷 知広 強化 JPCA・JPCU 愛知
- 2 菅田 和宏 JPCA JPCU 宮城
- 3 石口 慶多 兵庫 立命館大学



**男子 1km タイムトライアル**

- 1 坂本 貴史 強化 JPCU 青森 1:06.464
- 2 末木 浩二 山梨 甲府工高 1:07.921
- 3 横関 裕樹 岐阜 朝日大学 1:08.411



- 4 野村 匡仁 埼玉 日本体大 1:09.637

**男子ケリツ**

- 1 坂本 貴史 強化 JPCA・JPCU 青森
- 2 深谷 知広 強化 JPCA・JPCU 愛知
- 3 脇本 雄太 強化 JPCA・JPCU 福井



- 4 末木 浩二 山梨 甲府工業高校
- 5 後藤 祐貴 兵庫 法政大学
- 6 大村 慶二 東京 リコー / フジパレンティニ

**男子 4km 個人追抜競走**

- 1 飯島 規之 JPCA JPCU 埼玉 4:46.499
- 2 佐々木 龍 強化 神奈川・早大 4:50.781
- 3 矢野 智哉 岐阜 岐南工高 4:53.734



- 4 普久原 奨 沖縄 BS アンカー 4:57.203
- 5 嶋田 義明 埼玉 BS アンカー 4:58.363
- 6 脇本 雄太 強化 JPCU 福井 4:59.863

**男子ポイントレース (30km)**

- 1 飯島 誠 強化 JPCA・BS アンカー 72p
- 2 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽高校 63p

- 3 越海 誠一 大分 日本大学 51p



- 4 嶋田 義明 埼玉 BS アンカー 35p
- 5 我妻 優弥 福島 学法石川高校 10p
- 6 安原 大貴 奈良 榛生昇陽高校 2p

**男子チームスプリント**

- 1 強化 坂本・脇本・深谷 1:14.230
- 2 学連 澤口・今井・入部 1:20.641
- 3 鳥取 福井・石田・中尾 1:22.107



**男子 4km 団体追抜競走**

- 1 岐阜 横関・高橋・井関・矢野 4:26.847
- 2 学連 橋本・越海・窪木・坂本 4:29.805
- 3 JPCA 片山・近藤・新村・丹波 4:36.117



**女子 500m タイムトライアル**

- 1 前田佳代乃 兵庫 鹿屋体育大 36.538
- 2 篠崎 新純 千葉 セレーシング 38.720
- 3 野村くるみ 石川 内灘高校 39.137



- 4 白井美早子 京都 masahiko 39.455
- 5 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大 39.529
- 6 小島 蓉子 千葉 千葉経大附 40.469

**女子スプリント**



- 1 前田佳代乃 兵庫 鹿屋体育大学
- 2 篠崎 新純 千葉 セレーシング
- 3 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大学
- 4 大塚 沙織 大阪 Team Comrade
- 5 越田恵美子 石川 松寿園
- 6 濱田 瞳 青森 法政大学

**女子 3km 個人追抜競走**

- 1 和田見里美 鳥取 中京大学 3:55.445
- 2 井上 玲美 東京 チームコラック 4:01.005
- 3 豊岡 英子 大阪 パナソニックL 4:04.934



**女子ポイントレース (20km)**

- 1 森本 朱美 鳥取 パールズミ 27p
- 2 井上 玲美 東京 チームコラック 22p
- 3 豊岡 英子 大阪 パナソニックレディース 18p



- 4 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 18p
- 5 近内 稚明 福島 - 12p
- 6 田中 まい 千葉 日本体育大学 10p



**笠師 久美子**

シリーズひと④

カクダコ

JADA 公認スポーツファーマシスト  
JOC 医科学・強化スタッフ  
JCF アンチドーピング委員会委員

薬剤師の立場として、アンチドーピングの世界に取り組み。1998年より自転車競技でのドーピング防止活動に参画。自転車競技のアンチドーピングを語るには欠かせない1人。(写真は全日本トラックでの一コマ)

敬称略

## ACCトラック・アジアカップ 2009 タイラウンド

男子 1km の田中、女子 3km の上野が金メダル!



男子 1km チャンピオンの田中



女子 3km チャンピオンの上野

ACCトラック・アジアカップ 2009 第2戦タイラウンドが、10月10日と11日の2日間の日程で、7つの国と地域から61名が参加し開催された。

## 10月10日

大会初日は、8時より男女スプリント予選の200mTTで始まった。女子は前田佳代乃(兵庫・鹿屋体育大学)が12秒931で5位、野村くるみ(石川・内灘高校)が13秒439で7位。男子は田中春基(JPCA・JPCU千葉)が11秒158で4位、和田(神奈川)が11秒305で6位となった。その後女子は、前田が3-4位決定戦に進み、野村は5-8位決定戦で先行したが力及ばず8位となった。男子の田中は決勝へ進出し、和田は3-4位決定戦に進んだ。

女子個人追抜は上野みなみ(青森・八戸工業高校)が、4分07秒57で予選を1位通過し決勝に進んだ。男子個人追抜予選には佐々木龍(神奈川・早稲田大学)が出場したが、5分01秒75で5位に終わった。

男子ポイントレースは高橋翔太(岐阜・日本大学)と佐々木龍が出場して積極的にレースを進めたが、佐々木が

4位、高橋が7位に終わる。

女子3km団体追抜には上野と野村と小島容子(千葉経済大附属高校)のチームが出場し、4分15秒661で3位。

ケイリンは、女子は7車立ての一発決勝で、香港のLEEに先手を取られ成す術も無く6位に前田、7位に野村で終わった。経験を積む事とパワーが足りないと感じた。男子は田中と和田がともに予選を2位で通過し、決勝では田中のまくりに乗ったマレーシアのTISINが追い込みで1位。田中は3位で和田は4位に終わった。

男女スクラッチは、女子の時にスコールとなり競技が中断、雨が止むのを待ったがここでレースが打ち切りとなり、翌日に20周で再スタートすることになった。

## 10月11日

大会2日目、昨日の雨で出来なかった種目をスケジュールに繰り入れ、オムニアムが中止になった。

日本選手団のこの日最初の出場種目は女子500mタイムトライアルで、前田が37秒274のタイムで2位となる。男子1kmタイムトライアルは、田中が1分06秒295で昨年の同大会タイラウンドに続き優勝した。また、女子3km個人追抜の決勝では、上野が予選タイムを上回る4分05秒900で優勝した。

チームスプリントでは、女子は野村がスタート、前田がアンカーで挑んだが50秒903で3位。男子は中距離から高橋をスタートに起用しセカンドに和田、アンカー田中で走り1分04秒867で予選を1位タイムで通過し決勝に進んだ。高橋がスクラッチレース

の直後のため期待出来なかったが、予選より0秒133タイムを上回ったものの、イランに破れ2位となった。男子スクラッチは高橋と佐々木が出場したが、無駄な走りが多くレースを組み立てられないまま終わる。実際は佐々木が4位、高橋が9位のはずなのにリザルトでは6位、13位と発表され抗議に行ったが理解されなかった。

スプリントは男子決勝で田中がイランのPARASHと対戦したが、降格もありストレートで破れ2位に終わる。男女とも3、4位決定もストレート負け、和田、前田は4位に終わる。女子ポイントレースは上野と小島が出場したが、上野は前輪ハウスで落車棄権、小島も周回遅れで棄権。

最後の種目のマディソンに高橋・佐々木組が挑み、二人とも暑い中最後まで諦めずに良く走り、久しぶりに3位に入った。

今回のアジアカップは、次に繋がるように女子は18歳ジュニアの選手を出場させ、国際大会を経験させる目的だった。男子も当初は短距離の強化指定選手がおらず、中距離強化指定の学生を参加させた。後からJCFで急遽短距離選手を選出し、総勢8名で大会に挑んだ。残念ながらフルエントリーは、出来なかったが、みな選手は出場した種目に全力を出して頑張った。メカニックもディスクホイールのやりくりで苦労したが、どうにかレースに間に合いほっとした。暑さの中選手とスタッフ丸となり、2日間を乗り切った。女子の上野の怪我が無ければよかったが、これも次に繋がると思う。(福田 公生)



## 【競技結果】

ACCTトラック・アジアアカツ 2009タイラウンド  
(2009/10/10-11 タイ・バンコク)

## 男子スプリント

- 1 PARASH Mahmud IRI
- 2 田中 晴基 JPCA JPCU 千葉
- 3 NASIR M.Junaidi MAS
- 4 和田真久留 神奈川

## 男子 1km タイムトライアル

- 1 田中 晴基 JPCA JPCU 千葉 1:06.295
- 2 AHMADIASHJERDI Alireza IRI 1:07.997
- 3 TSAI Chung Yu TPE 1:09.827

## 男子ケリツ

- 1 TISIN Rizal MAS
- 2 FARANEJADIAN Farshid IRI
- 3 田中 晴基 JPCA JPCU 千葉
- 4 和田真久留 神奈川

## 男子 4km 個人追抜競走

- 1 FENG Chun Kai TPE 4:49.715
- 2 HAGHI Alireza IRI 4:50.043
- 3 CHEUNG King Lok HKG 追抜勝
- 5 佐々木 龍 神奈川 早稲田大学 5:01.75

## 男子スクラッチ (12km)

- 1 HAGHI Alireza IRI
- 2 KOLESSOV Alexey KAZ
- 3 BOONRATANATHANAKORN Thirakit THA
- 6 佐々木 龍 神奈川 早稲田大学
- 13 高橋 翔太 岐阜 日本大学 -2laps

## 男子ポイントレース (30km)

- 1 RAJABLOU Mohammad IRI 77p
- 2 CHEUNG King Wai HKG 64p
- 3 KUPESHOV Berik KAZ 23p
- 4 佐々木 龍 神奈川 早稲田大学 18p
- 7 高橋 翔太 岐阜 日本大学 8p

## 男子マテリツ (40km)

- 1 ホンコン・チャイ 27p
- 2 イラン 13p
- 3 日本 佐々木・高橋 9p

## 男子チームスプリント

- 1 イラン 1:03.240
- 2 日本 田中・和田・高橋 1:04.734
- 3 チャイニーズ・タイpei 1:05.606

## 男子 4km 団体追抜 (日本不参加)

- 1 イラン 4:28.663
- 2 ガザフスタン 4:34.303
- 3 ホンコン・チャイ 4:34.896

## 女子 500m タイムトライアル

- 1 LEE Wai Sze HKG 36.471
- 2 前田佳代乃 兵庫 鹿屋体育大 37.274
- 3 MANEEPAN Jutatip THA 38.028

## 女子スプリント

- 1 LEE Wai Sze HKG
- 2 MENG Zhaojuan HKG
- 3 HSIAO Mei Yu TPE
- 4 前田佳代乃 兵庫 鹿屋体育大学
- 7 野村くるみ 石川 内灘高校

## 女子ケリツ

- 1 LEE Wai Sze HKG
- 2 MANEEPAN Jutatip THA
- 3 BUNSAWAT Sutharat THA
- 6 前田佳代乃 兵庫 鹿屋体育大学
- 7 野村くるみ 石川 内灘高校

## 女子 3km 個人追抜競走

- 1 上野みなみ 青森 八戸工高 4:05.900
- 2 WONG Wan Yiu Jamie HKG 4:06.319
- 3 TSENG Hsiao Chia TPE 4:04.818

## 女子スクラッチ

- 1 WONG Wan Yiu Jamie HKG
- 2 WICHANA Thatsani THA
- 3 BUNSAWAT Sutharat THA
- 5 上野みなみ 青森 八戸工業高校
- 6 小島 蓉子 千葉 千葉経済大附属高校

## 女子ポイントレース (16km)

- 1 WONG Wan Yiu Jamie HKG 29p
- 2 NONTASIN Chanpeng THA 26p
- 3 TSENG Hsiao Chia TPE 13p
- 小島 蓉子 千葉 千葉経大附高 DNF
- 上野みなみ 青森 八戸工業高校 DNF

## 女子チームスプリント

- 1 ホンコン・チャイ 48.470
- 2 タイ 49.682
- 3 日本 前田・野村 50.903

## 女子 3km 団体追抜競走

- 1 タイ 3:55.638
- 2 ホンコン・チャイ 3:57.971
- 3 日本 上野・野村・小島 4:15.661



## アンチドーピング についての基礎知識

その3



### 選手の立場から ..... 別府 史之



僕がプロになった 2005 年から現在までを見ても、多くの選手たちのドーピングが発覚している。海外で活動している自分が感じていることは、近年のドーピングコントロールの検査数や質があがっていること。そして、それによって多くの成果が挙げられているのだと思う。また、レースの展開や走り方が随分と変わってきている。現在、選手は ADAMS という居場所情報確認を毎日欠かさず行なわなければならない、プライベートがないような状態になっている。そのシステムに万が一記入を怠ってしまったとしても陽性扱いになり、とても大きな負担となっている。しかし、ここまでして行なわなければならないのだと思う。次から次へと新薬が開発され、それを悪用する輩があとを絶たない。

検査する側とドーピング薬の追いかっこはいつまで経ってもきりがない状態だ。何もしないのが潔白な選手なのではなく、潔白であることを身を挺して示して行かなければならないと思う。

ドーピングをする選手たちは確実に減ってきた。2008 年から導入されたバイオロジカルパスポートは、ドーピングコントロールや抜き打ち検査、年に 4 度の血液検査などの結果を基にして、血液の異変を察知するという画期的なシステムだ。すぐに怪しい選手の目星をつけることが出来る。自転車競技はどこの競技よりも先に、このシステムを導入したことで、よりクリーンなスポーツに近づいたのは間違いのないだろう。

多くのスポーツが抱えるドーピング問題、一番大切なことは選手たちのモラルだと思う。まずはスポーツ選手としての自覚を持って競技に望むことが一番だと僕は思う。(別府 史之)

# 競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

## 第45回全日本学生新人戦西日本大会 (2009/10/4 滋賀・大津びわこ競輪場)

### 男子7<sup>1</sup>/<sub>2</sub>マイル

- 1 山森 雅也 京都 京都産業大学
- 2 尾形 鉄馬 宮城 朝日大学
- 3 木村知多賀 愛知 名古屋産業大学
- 4 新垣 朋洋 沖縄 朝日大学
- 5 河本健太郎 石川 北陸大学
- 6 外処 譲二 群馬 名古屋産業大学

### 男子1kmタイムトライアル

- 1 天池 哲也 石川 北陸大学 1:11.648
- 2 今西 薫 鳥取 朝日大学 1:12.005
- 3 平野 大治 和歌山 京都産大 1:13.466
- 4 藤村 俊之 京都 大阪産大 1:13.754
- 5 長谷 康平 広島 立命館大 1:14.486
- 6 吉田 佳介 滋賀 立命館大 1:15.140

### 男子ケリソ

- 1 吉川 勇気 石川 北陸大学
- 2 下久保尚貴 京都 大阪経済大学
- 3 山本 浩平 宮城 環太平洋大学
- 4 畑段 嵐士 京都 同志社大学
- 5 無量井弘毅 石川 環太平洋大学
- 6 湊 淳二 兵庫 京都産業大学

### 男子4km個人追抜競走

- 1 田中 光 山形 朝日大学 5:09.975
- 2 清水 洋佑 京都 同志社大 5:11.149
- 3 廣浦 典也 京都 京都産大 5:16.148
- 4 宮城 裕 沖縄 朝日大学 5:19.734
- 5 金子 匠光 宮城 名産大学 5:23.047
- 6 高木 隆大 岐阜 朝日大学 5:24.656

### 男子ポイントレース(24km)

- 1 小村 知之 青森 環太平洋大学 19p
- 2 丹後 彰馬 広島 京都産業大学 17p
- 3 福留 康介 高知 環太平洋大学 17p
- 4 門前 孝洋 兵庫 名古屋産業大学 16p
- 5 元砂 海人 大阪 環太平洋大学 14p
- 6 中根 英登 愛知 中京大学 11p

### 女子500mタイムトライアル

- 1 石井 愛 京都 立命館大学 46.049

### 女子3km個人追抜競走

- 1 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 4:11.408
- 2 松橋 未来 青森 立命館大 4:30.850
- 3 石井 愛 京都 立命館大 4:39.682

## MTB J1 XCO#8/DHI#6 瀬女 (2009/10/10-11 石川・瀬女)

### DH男子タイム

- 1 安達 靖 愛知 lkuzawa 4:42.183
- 2 青木 卓也 東京 GIANT 4:46.504
- 3 井手川直樹 埼玉 EVIL 4:46.968

- 4 永田 隼也 神奈川 FFC 4:48.065
- 5 門脇 祥 新潟 ARIGER 4:53.505
- 6 黒沢 大介 東京 FUST 4:55.411
- 7 清水 一輝 愛知 AKI Fact. 4:56.285
- 8 阿藤 寛 大阪 1-jyo 4:58.369
- 9 柴田 幸治 神奈川 A&F 4:59.479
- 10 井本はじめ 東京 Transition 4:59.798

### DH女子タイム

- 1 末政 実緒 兵庫 Funfancy 5:24.473
- 2 飯塚 朋子 東京 Corratec 5:36.856
- 3 富田 敬子 奈良 ZONE 5:48.596
- 4 中川ヒロカ 大阪 Ringoroad 6:13.939
- 5 中村 美佳 福井 SK-Fact. 6:15.012
- 6 宮下 瑠衣 兵庫 6:33.770
- 7 清水 友香 神奈川 重力技研 6:37.021
- 8 尾芦 資子 東京 風魔吉祥寺 6:38.876
- 9 村田 実里 山口 Van-Quish 6:59.295
- 10 木下 論子 奈良 髑髏団 7:01.405

### XCO男子タイム(42km)

- 1 山本 幸平 長野 BS アンカー 2:00:27.18
- 2 辻浦 圭一 長野 BS アンカー 2:04:10.30
- 3 山本 和弘 東京 Cannondale 2:04:28.04
- 4 Cooper Dylan 兵庫 TREK 2:05:40.06
- 5 竹之内 悠 京都 TREK 2:05:56.54
- 6 小野寺 健 京都 Subaru 2:06:45.67
- 7 門田 基志 愛媛 GIANT 2:08:44.36
- 8 斉藤 亮 長野 Corratec 2:09:20.86
- 9 藤本弥之助 山口 Corratec 2:10:22.28
- 10 平野 星矢 長野 Bikeranch 2:11:28.18

### XCO女子タイム(30km)

- 1 片山 梨絵 神奈川 Specialized 1:46:04.03
- 2 中込由香里 長野 SY-Nak 1:52:16.91
- 3 矢沢みつみ 山梨 Corratec 1:56:03.26
- 4 田近 郁美 岐阜 God Hill 2:01:02.27
- 5 重兼みゆき 愛媛 焼鳥山鳥 -1lap
- 6 山本 佳苗 岡山 BMC -1lap
- 7 原田 彩子 東京 FITTE -2laps
- 8 西尾 美子 香川 焼鳥山鳥 -2laps
- 9 早瀬 美希 東京 カガワジム -3laps
- 10 出町 有希 千葉 ヴァンロード -3laps

## 第42回全日本学生室内自転車競技選手権 (2009/10/10-11 東京・東京工業大学)

### 最終成績

- 1 田中 勝也・三須 友晶 大阪大学
- 2 合田 昌司・村上 裕亮 関西大学
- 3 斎藤 辰彦・佐藤 裕太 東工大学
- 4 長谷 遼太・東瀬戸太志 大阪大学
- 5 岡 剛司・安田 大悟 大阪大学
- 6 大橋 龍二・谷川 拓真 東工大学

## 第45回全日本学生新人戦東日本大会 (2009/10/11 山梨・境川自転車競技場)

### 男子7<sup>1</sup>/<sub>2</sub>マイル

- 1 伊藤 大樹 山梨 日本大学
- 2 佐々木 海 宮城 明治大学
- 3 飯塚 力也 山梨 順天堂大学
- 4 イ ヒョジン 岩手 富士大学
- 5 鈴木 近成 栃木 法政大学
- 6 赤澤 健 長野 信州大学

### 男子1kmタイムトライアル

- 1 古庄 豊全 熊本 日本大学 1:08.84
- 2 古河 栄樹 福島 日本体育大 1:10.17

- 3 丸田 直 神奈川 法政大学 1:10.32
- 4 坂本 健介 青森 日本大学 1:10.67
- 5 森 一馬 和歌山 日本大学 1:10.80
- 6 高橋 知生 青森 東北学院大 1:11.32

### 男子ケリソ

- 1 後藤 祐貴 兵庫 法政大学
- 2 坂部慎之助 千葉 日本大学
- 3 會澤 龍 宮城 日本大学
- 4 野口 大誠 熊本 中央大学
- 5 和田 拓磨 茨城 明治大学
- 6 牧野 翔太 秋田 東北学院大学

### 男子4km個人追抜競走

- 1 早川 朋宏 愛知 法政大学 5:02.35
- 2 盛田 祐矢 熊本 日本体育大 5:16.35
- 3 豊住 大輔 鹿児島 中央大学 5:04.36
- 4 出澤 拓也 神奈川 明治大学 5:06.38
- 5 黒川 大介 神奈川 慶應義塾大 5:13.98
- 6 森崎 竜二 神奈川 法政大学 5:15.79

### 男子ポイントレース(24km)

- 1 佐々木 真 青森 法政大学 17p
- 2 堀内 俊介 神奈川 中央大学 14p
- 3 飯野 智行 群馬 中央大学 13p
- 4 山國 渉 熊本 日本大学 12p
- 5 窪木 一茂 福島 日本大学 12p
- 6 加藤 雄介 宮城 明治大学 11p

### 女子500mタイムトライアル

- 1 松本 世良 鳥取 順天堂大学 38.67
- 2 古河 麻美 福島 日本体育大学 38.75
- 3 田中 まい 千葉 日本体育大学 40.17

### 女子7<sup>1</sup>/<sub>2</sub>マイル

- 1 松本 世良 鳥取 順天堂大学
- 2 濱田 瞳 青森 法政大学
- 3 古河 麻美 福島 日本体育大学

### 女子3km個人追抜競走

- 1 田中 まい 千葉 日本体育大学 追抜勝
- 2 成瀬ふたば 東京 明星大学

## MTB J3 白馬24時間 XCE (2009/10/17-18 長野・白馬さのさか)

### JCFクラス男子70

- 1 鈴木 博信 鹿児島 チームのざき 44laps
- 2 星 慎一 神奈川 ベーグルン 38 laps
- 3 松本 駿 長野 TREK 37laps
- 4 佐藤健太郎 栃木 Tea & Shu 33laps
- 5 Rice Michael 東京 age1 29laps
- 6 西山 俊寿 長崎 オンセラッシュ 27laps
- 7 多治見智高 東京 27laps
- 8 山本 誠一 山形 Team 奥州 24laps
- 9 松山 晋也 長野 チャタニス 21laps
- 10 木山 公志 愛知 焼鳥山鳥 R 20laps

### JCFクラス女子70

- 1 笹本 みぎ 山梨 sas 32laps

## 第2回全日本実業団サイクルロードレース in 輪島 (2009/10/18 石川・輪島)

### TR(88.6km)

- 1 佐野 淳哉 埼玉 NIPPO 2:37:30
- 2 狩野 智也 JPCA シュルレーシング 2:37:30
- 3 野寺 秀徳 JPCA シュルレーシング 2:37:47
- 4 畑中 勇介 東京 シュルレーシング 2:38:25
- 5 真鍋 和幸 香川 NIPPO 2:39:54
- 6 長沼 隆行 埼玉 BLITZEN 2:39:55

7	阿部 嵩之	北海道	シムラシマ	2:39:56
8	西谷 雅史	東京	オーベスト	2:40:00
9	鈴木 真理	JPCA	シムラシマ	2:40:03
10	山下 貴宏	兵庫	NIPPO	2:41:47

## FR (25.6km)

1	森田 正美	神奈川	BSアンカー	52:00
2	橋本みどり	東京	なるしまフレンド	53:27
3	星川恵利奈	香川	MUUR ZERO	54:23
4	智野 真央	東京	MUUR ZERO	59:38
5	笹岡真奈美	埼玉	cicli HIDE	59:50
6	菊池 香	神奈川	なるしま F.	1:00:19
7	矢崎 麻里	大阪	クラブシムラシマ	1:00:40

MTB J2 加スカトリ-XCO 日本 CSC  
(2009/10/24-25 静岡・日本 CSC)

## XCO 男子リト

1	山本 幸平	長野		1:46:28.34
2	佐藤 誠示	埼玉		1:59:20.29
3	水谷 祐太	大阪	シムラシマ	2:01:05.63
4	小田島貴弘	神奈川	SY-Nak	2:01:33.53
5	古谷 利行	埼玉		2:02:17.55
6	遠藤 琢也	岡山	タックスフンド	2:03:13.65
7	多田 尚史	東京	JFE	2:03:54.02
8	鈴木 禄徳	千葉	学習院大	2:04:47.87
9	佐藤あきら	愛知	人力車	2:05:40.29
10	久保 伸次	京都	岩井商会	2:05:55.32

## XCO 女子リト

1	田近 郁美	岐阜	God Hill	2:05:07.68
2	埜真 賢美	岡山	Team クルース	-1lap
3	出町 有希	千葉	ワザロード	-1lap

第5回全国シムラシマ自転車競技大会  
(2009/10/25 三重・四日市)

## A-1 登録者高校生男子 (72km)

1	黒枝 士揮	大分	日出場谷	1:46:24.76
2	中井 俊亮	奈良	榛生昇陽	1:46:26.32
3	池部 壮太	大分	別府商業	1:46:26.57
4	六峰 亘	大分	日出場谷	1:46:27.51
5	山本 元喜	奈良	奈良北高	1:46:28.19
6	日野林雄大	愛媛	松山工高	1:46:34.02
7	高士 拓也	三重	朝明高校	1:46:34.57
8	中野 俊喜	愛媛	松山工高	1:46:34.95
9	榊原 健一	愛知	半田農高	1:46:35.38
10	徳田 鍛造	京都	北桑田高	1:46:46.42

## A-2 登録者高校生女子 (27km)

1	福本 千佳	大阪	履正社高	46:31.06
2	岩田 知夏	京都	北桑田高	48:09.43
3	中村 友香	奈良	奈良北高	49:35.29
4	岩出 愛未	愛知	瀬戸北高	50:21.66
5	下久保初菜	京都	北桑田高	52:37.01
6	青木志都加	京都	北桑田高	55:48.44
7	浅田 聖奈	愛知	豊田高校	59:07.65

## B-1 未就学児 (0.5km)

※順位をつけず

## B-2 小学校1-2年生男子 (2.7km)

1	古林 一夢	石川	南小立野小	5:38.02
2	寺田 吉騎	静岡	三川小学校	5:41.11
3	高梨万里王	静岡	富士根南小	5:49.79
4	大河内将泰	三重	花垣小学校	5:51.02
5	武智 光	愛媛	畑野川小学	5:52.42
6	井口 岳斗	兵庫	塩屋北小学	6:18.89

## B-3 小学校1-2年生女子 (2.7km)

1	三宅 優奈	岡山	荘内小学校	6:29.03
2	金田 舞夏	神奈川	茅ヶ崎小学	6:45.32
3	大平 捺華	滋賀	葉山小学校	7:44.08
4	村岸 芽衣	京都	美濃山小学	7:45.22
5	片岡 百音	三重	保々小学校	8:08.56
6	大橋 真実	三重	西橋北小学	8:33.86

## B-4 小学校3-4年生男子 (9.3km)

1	大西 秀典	兵庫	小宅小学	18:00.68
2	藤垣 人也	三重	新町小学	18:01.98
3	古谷田貴斗	神奈川	東希望が丘	18:56.05
4	片桐東次郎	新潟	日越小学	19:13.53
5	山内 溪太	岐阜	今渡北小	19:17.58
6	松永 悠希	石川	片山津小	19:32.57

## B-5 小学校3-4年生女子 (9.3km)

1	石上 夢乃	神奈川	釜利谷小	18:56.21
2	小山 真由	群馬	旭小学校	18:56.50
3	酒井 美有	愛知	栄小学校	18:56.84
4	寺田 早希	愛知	植田小学	20:49.73
5	西垣 亜美	大阪	守口小学	21:33.01
6	佐藤あゆみ	千葉	六実第三	21:49.90

## B-6 小学校5-6年生男子 (9.3km)

1	石上 優大	神奈川	釜利谷小	16:26.75
2	河野 玄樹	香川	屋島西小	16:27.26
3	松本 峻典	京都	南つじヶ丘	16:27.38
4	黒澤 虎南	福岡	飯塚東小	16:28.28
5	天春 雄也	三重	八郷小学	16:32.23
6	徳田 匠	京都	宮津小学	16:39.36

## B-7 小学校5-6年生女子 (9.3km)

1	寺田 有希	愛知	植田小学	17:39.63
2	川嶋 百香	三重	笹川西小	17:43.33
3	坂口 楓華	兵庫	母里小学	17:44.30
4	古山 稀絵	東京	相生小学	17:48.45
5	前田 乙乃	愛知	野田小学	18:54.81
6	中川絵里奈	愛知	三好ヶ丘	18:56.01

## B-8 中学生男子 (27km)

1	片桐 善也	新潟	長岡西中	42:54.33
2	岡本 隼	神奈川	左近山中	42:54.45
3	松本 祐典	京都	東輝中学	42:54.46
4	廣瀬 元輝	福井	上庄中学	42:55.12
5	野島 遊	大阪	太成学中	42:55.32
6	横山 航太	長野	更北中学	42:55.75

## B-9 中学生女子 (18km)

1	黒田 彩夏	兵庫	江井島中	32:50.64
2	坂口 聖香	兵庫	稲美中学	32:51.14
3	八木 梓	兵庫	星陽中学	32:54.10
4	中村 千鶴	富山	出町中学	34:17.87
5	三宅 玲奈	岡山	荘内中学	34:46.33
6	小山 千穂	愛知	桜丘中学	34:56.21

## B-10 高校生男子 (36km)

1	加藤 達也	岐阜	恵那南高	57:57.21
2	元山 高嶺	京都	北桑田高	57:58.07
3	中島 光隆	岐阜	恵那南高	58:22.36
4	宮嶋 良太	千葉	獨協埼玉	58:22.83
5	志野 安樹	奈良	近大附高	58:23.32
6	谷口 七海	奈良	大和中央	58:24.88

## B-11 高校生女子 (27km)

1	大岩 葵	愛知	岡崎西高	50:23.76
---	------	----	------	----------

一地区7<sup>0</sup>選手権大会一第36回北日本地区7<sup>0</sup>選手権大会  
(2009/10/3 北海道・函館競輪場)

## スプリント

1	成田 和也	福島	
2	鈴木謙太郎	福島	
3	高橋 陽介	青森	

## 1kmタイムトライアル

1	新田 祐大	福島	1:06.492
2	坂本 貴史	青森	1:06.611
3	大森 慶一	北海道	1:07.102

## ケリ

1	菊地 圭尚	北海道	
2	岡部 芳幸	福島	
3	内藤 宣彦	秋田	

## 4km個人追抜競走

1	天沼 雅貴	北海道	5:10.84
2	佐々木孝司	青森	5:13.17
3	青森 伸也	福島	5:13.79

## ホイントレース

1	竹山 陵太	宮城	48p
2	大澤 哉太	北海道	33p
3	関戸 努	宮城	18p

## チームスプリント

1	福島 伏見・佐藤慎・渡邊		1:16.29
2	青森 及川・坂本・佐藤博		1:16.96
3	北海道 中村・森田・大森		1:18.20

## 4km団体追抜競走

1	宮城 関戸・齋藤・竹山・安倍		4:40.86
2	福島 佐藤悦・青森・金澤・小野		4:40.86
3	青森 佐藤幸・永澤・高橋・佐々木		4:54.41

第36回関東地区7<sup>0</sup>選手権大会  
(2009/10/22 群馬・クリート・ム前橋)

## スプリント

1	天田 裕輝	群馬	
2	志村 太賀	山梨	
3	坂本 英一	栃木	

## 1kmタイムトライアル

1	矢口啓一郎	群馬	1:05.324
2	松田 優一	茨城	1:05.835
3	小佐野文秀	山梨	1:06.336

## ケリ

1	篠原 忍	群馬	
2	諸橋 愛	新潟	
3	長塚 智広	茨城	

## 4km個人追抜競走

1	飯島 規之	埼玉	4:49.60
2	朝倉 佳弘	東京	4:54.72
3	飯嶋 則之	栃木	4:55.26

## ホイントレース

1	小林 潤二	群馬	32p
2	田村 武士	新潟	30p
3	北村 貴幸	群馬	27p

## チームスプリント

1	群馬 稲村・矢口・木暮		1:02.212
2	栃木 松岡・中嶋・神山		1:03.108
3	茨城 牛山・須賀・松田		1:03.879

## 4km団体追抜競走

1	群馬 田村・齋藤昌弘・手島・石川		4:32.13
2	埼玉 太田・飯島・峠・渡邊		4:33.01
3	栃木 宗景・齋藤昌太・菊池・長島		4:36.80

第36回南関東地区プロ選手権大会  
(2009/10/22 神奈川・川崎競輪場)

スプリント			
1	根田 空史	千葉	
2	山賀 雅仁	千葉	
3	齋藤 友幸	静岡	
1km タイムトライアル			
1	新田 康仁	静岡	1:05.897
2	田中 晴基	千葉	1:06.087
3	山本 健也	千葉	1:06.329
ケリッ			
1	栗田 雅也	静岡	
2	望月 永悟	静岡	
3	望月裕一郎	静岡	
4km 個人追抜競走			
1	近藤 隆司	千葉	5:00.26
2	深澤 伸介	静岡	5:05.08
3	栗原 厚司	静岡	5:15.10
ポイントレース			
1	村本 慎吾	静岡	41p
2	山城 光央	静岡	33p
3	海野 敦男	静岡	30p
チームスプリント			
1	千葉 中村・伊勢崎・武井		1:17.21
2	神奈川 吉川・五十嵐・福田		1:17.24
3	静岡 渡邊・田代・齋藤		1:19.38
4km 団体追抜競走			
1	静岡 松江・杉本・山崎・岡村		4:37.54
2	神奈川 遠澤・小原・加藤・早野		4:37.86
3	神奈川 對馬・亀谷・伊藤・柁原		4:46.22

第37回中部地区プロ選手権大会  
(2009/10/22 愛知・名古屋競輪場)

スプリント			
1	金子 貴志	愛知	
2	深谷 知広	愛知	
3	柴崎 淳	三重	
1km タイムトライアル			
1	浅井 康太	三重	1:05.225
2	谷田 泰平	岐阜	1:06.978
3	笹倉 慎也	富山	1:07.665
ケリッ			
1	山口 富生	岐阜	
2	吉田 敏洋	愛知	
3	志智 俊夫	岐阜	
4km 個人追抜競走			
1	日比野敏行	岐阜	5:08.57
2	山田 晃久	石川	5:08.94
3	児玉 利文	岐阜	5:11.07
ポイントレース			
1	舛井 幹雄	三重	31p
2	鰐淵 正利	愛知	28p
3	熊無 俊一	富山	16p
チームスプリント			
1	富山 重倉・宮越・笹倉		1:16.356
2	三重 松岡・柴崎俊・若松		1:17.395
3	岐阜 山口・永井・森		1:17.874
4km 団体追抜競走			
1	富山 坂上忠・岩本・辻・坂上樹		4:34.50
2	岐阜 原・廣島・柴田・児玉		4:44.65
3	愛知 小林・白井・富安・島野		4:46.98

第32回近畿地区プロ選手権大会  
(2009/10/22 奈良・奈良競輪場)

スプリント			
1	奥平 充男	京都	
2	川村 晃司	京都	
3	西谷 岳文	京都	
1km タイムトライアル			
1	稲垣 裕之	京都	1:06.380
2	伊藤 保文	京都	1:06.435
3	窪田 陽介	滋賀	1:06.695
ケリッ			
1	村上 博幸	京都	
2	大井 啓世	奈良	
3	佐藤 成人	奈良	
4km 個人追抜競走			
1	脇本 雄太	福井	4:54.825
2	山田 久徳	京都	4:58.149
3	馬淵 智史	滋賀	5:02.567
ポイントレース			
1	窓場加乃敏	京都	24p
2	藤野 一良	大阪	22p
3	鷲田 佳史	福井	16p
チームスプリント			
1	京都 村上・稲垣・伊藤		1:03.213
2	福井 松山・市田・伊原		1:03.681
3	大阪 岡崎・稲川・佐川		1:03.710
4km 団体追抜競走			
1	福井 脇本・渡辺航・宮腰・渡辺+		4:29.432
2	京都 佐野・窓場・久米・山岸		4:36.267
3	兵庫 村田・篠塚・木村・徳丸		4:45.580

第36回中国地区プロ選手権大会  
(2009/10/22 広島・広島競輪場)

スプリント			
1	前反祐一郎	広島	
2	友定 祐己	岡山	
3	守谷 陽介	岡山	
1km タイムトライアル			
1	才迫 勇馬	広島	1:05.32
2	片岡 迪之	岡山	1:05.87
3	大川 龍二	広島	1:06.34
ケリッ			
1	富 弥昭	山口	
2	三宅 伸	岡山	
3	桑原 大志	山口	
4km 個人追抜競走			
1	山下 一輝	山口	4:52.01
2	大屋 健司	広島	4:55.98
3	藤原 悠斗	岡山	5:05.27
ポイントレース			
1	星島 太	岡山	36p
2	岩津 裕介	岡山	34p
3	齋藤 勝	広島	22p
チームスプリント			
1	広島 桶谷・中石・吉本		1:17.37
2	山口 内村泰・隅・内村竜		1:17.51
3	岡山 筒井・井上・在本		1:17.68
4km 団体追抜競走			
1	岡山 近藤・丹波・新村・片山		4:34.06
2	広島 才迫・大瀬戸・大屋・池田		4:38.49

第36回四国地区プロ選手権大会  
(2009/10/22 高知・高知競輪場)

スプリント			
1	山中 貴雄	高知	
2	堤 洋	徳島	
3	香川 雄介	香川	
1km タイムトライアル			
1	小川 祐司	愛媛	1:07.00
2	池田 周平	高知	1:09.09
3	三ツ石康洋	徳島	1:09.74
ケリッ			
1	渡部 哲男	愛媛	
2	廣川 泰昭	愛媛	
3	室井 健一	徳島	
4km 個人追抜競走			
1	鳥生 知八	愛媛	5:00.40
2	藤原 浩	高知	5:10.76
3	大崎飛雄馬	愛媛	5:10.80
ポイントレース			
なし			
チームスプリント			
1	愛媛 濱田・橋本・岡本		1:38.18
2	香川 大西・池田・山原		1:38.87
3	高知 吉松・野本・林		1:41.34
4km 団体追抜競走			
1	香川 福島・網谷・眞鍋・宮崎		4:33.28
2	高知 篠原・中村・池本・阿部		4:37.37
3	愛媛 上田・宇根・栗田・芳野		4:43.35

第36回九州地区プロ選手権大会  
(2009/10/22 佐賀・武雄競輪場)

スプリント			
1	北津留 翼	福岡A	
2	荒井 崇博	佐賀	
3	富永 昌久	佐賀	
1km タイムトライアル			
1	中川誠一郎	熊本A	1:05.765
2	坂本 亮馬	福岡B	1:06.561
3	下沖 功児	宮崎	1:07.428
ケリッ			
1	西川 親幸	熊本A	
2	原 司	佐賀	
3	井出 健	長崎	
4km 個人追抜競走			
1	成松 春樹	佐賀	4:58.339
2	松岡 孔明	熊本A	5:02.792
3	森山 昌昭	福岡A	5:03.708
イリミネーション			
1	野田 源一	福岡B	
2	中塚 記生	熊本A	
3	安東 宏高	大分	
チームスプリント			
1	熊本A 馬場・松本・中川		1:16.877
2	福岡A 内山・宮本・北津留		1:17.252
3	福岡B 中園和・中園朋・牧		1:18.801
4km 団体追抜競走			
1	大分 鈴木・大塚・安東・小岩		4:29.675
2	佐賀 坂本・佐々木・豊岡・一ノ瀬		4:36.712
3	福岡B 梶山・古川・柁元・白水		4:43.284

## '09-10 UCIトラックワールドカップ 第1戦 日本代表選手団

大会名 '09-10 UCIトラック ワールドカップ 第1戦  
開催場所 イギリス・マンチェスター  
大会期間 2009年10月30日～11月1日  
派遣期間 2009年10月26日～11月3日  
代表選手団  
監督 フレデリック・マニエ (JCFナショナルディレクター)  
コーチ 阿部 良二 (JCF強化コーチ)  
メカニック 鬼原 積 (JCF強化スタッフ)  
森 昭雄 (JCF強化スタッフ)  
マッサー 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)  
石田 宗男 (JCF強化スタッフ)  
通訳 酒見 由梨 (JCF強化スタッフ)  
野波 真琴  
総務 山田 克彦 (JCF事務局)  
選手 佐藤 友和 (JPCA・JPCU 岩手)  
成田 和也 (JPCA・JPCU 福島)  
渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)  
新田 祐大 (JPCA・JPCU 福島)  
深谷 知広 (JPCA・JPCU 愛知)  
盛 一大 (愛知・愛三工業レーシングチーム)

## '09-10 UCIトラックワールドカップ 第2戦 日本代表選手団

大会名 '09-10 UCIトラック ワールドカップ 第2戦  
開催場所 オーストラリア・メルボルン  
大会期間 2009年11月19日～11月21日  
派遣期間 2009年11月15日～11月23日  
代表選手団  
監督 フレデリック・マニエ (JCFナショナルディレクター)  
コーチ 阿部 良二 (JCF強化コーチ)  
メカニック 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)  
マッサー 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)  
通訳 酒見 由梨 (JCF強化スタッフ)  
野波 真琴  
総務 山田 克彦 (JCF事務局)  
選手 坂本 貴史 (JPCA・青森 JPCU)  
脇本 雄太 (JPCA・JPCU 福井)  
深谷 知広 (JPCA・JPCU 愛知)  
飯島 誠 (JPCA・チームブリヂストン・アンカー)  
盛 一大 (愛知・愛三工業レーシングチーム)

## 2009年アジア BMX 選手権大会 日本代表選手団

大会名 第4回アジア BMX 選手権大会  
開催場所 ホンコン・チャイナ  
大会期間 2009年10月31日(土)  
派遣期間 2009年10月29日(木)～11月1日(日)  
代表選手団  
団長 Martin Ward (JBMXF チームマネージャー)  
コーチ 宮城 力 (JBMXF ヘッドコーチ)  
スタッフ 宇都宮真紀 (JBMXF 強化スタッフ)  
広報 猪俣 健一 (JBMXF 事務局 広報)  
選手  
男子リト 阪本 章史 (大阪・UN AUTHORIZED)  
高山祐次郎 (埼玉・Groovy Factory)  
藤原 海渡 (神奈川・MBK)  
女子リト 三輪 郁佳 (広島・Free Agent 伯和)  
飯端 美樹 (大阪・STAATS JAPAN)

## インターナショナル ケイリン 日本代表選手団

大会名 第6回 インターナショナル 男子ケイリン イベント  
開催場所 イギリス・マンチェスター  
大会期間 2009年11月1日  
派遣期間 2009年10月26日～11月3日  
代表選手団  
選手 佐藤 友和 (JPCA・JPCU 岩手)  
岡部 芳幸 (JPCA・JPCU 福島)  
成田 和也 (JPCA・JPCU 福島)  
渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)  
新田 祐大 (JPCA・JPCU 福島)  
吉川 誠 (JPCA・JPCU 神奈川)  
深谷 知広 (JPCA・JPCU 愛知)

## 加盟団体だより (3)

## 埼玉県自転車競技連盟

多くの連盟が発展のため、日ごろ苦勞されていることと思います。当連盟を強化・発展させるには、常に登録競技者の増加を図り、互いに競い合う機会をできるだけ増やしてみたら良いのではないかと考えました。少子高齢化が進むなか、また多数のスポーツ競技があるなかでそれを勧めて行くのは容易ではないと思いますが、自転車競技を身近な地元で行えるようにし、競技会開催回数を増やして実行してみました。

トラックレースは、大宮競輪場の開催のない土・日曜日(場外開催日もお願いして使用しています)、年間45～50日の練習兼記録会を行っています(以前は10日間ほど)。このうち、夏休み期間を中心に中学生・高校生初心者のためのジュニア教室を、合宿も含めて約15日ほど行っています。参加条件は、一般・ジュニア教室とも、当連盟に競技者登録した者に限りました。

ロードレースは、4月に秩父三峰山ヒルクライム(14km、平均勾配7%)、5月に利根川スーパー堤防工事用舗装道路(加須市)を使用したタイムトライアルロードレース(20km)、9月に秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会(75km)、12月、1月、2月、3月の各月に冬季強化練習としてクリテリウム大会(菅蒲町)を開催しています。ロードレースは登録者と未登録者に分けて行います。未登録者の参加料は登録者より高く設定しています(クリテリウム)。これらはすべて公道レースなので、警察、会場の行政・住民との折衝、道路での立哨員の手配などで大変多忙です。競技運営は協力的で競技経験の豊富な方々が多くいるのでうまく進んでいます。難問は、各団体からの補助金が減額あるいは廃止されている状態で自己資金を調達することです。

とは言え、この数年は努力の甲斐があったのか、ジュニア以下の登録者は全国No1、シニア、女子登録選手も増加しています。また、中堅選手がでてきているので皆さんの協力を武器にして邁進していこうと思います。できましたら秩父地方をスポーツサイクルフィールドにしたいと考え、市当局と話し合いをしています。

下表は平成17年度と20年度の競技登録者の推移表です。(渡邊 淳)

	男子			女子		合計
	プロ・シニア	ジュニア	ビギナー	シニア	ジュニア	
平成17年度	156	122	11	12	1	302
平成20年度	175	155	18	15	8	371

## 2009年アジア・マウンテンバイク選手権大会 日本代表選手団

大会名 第15回アジア マウンテンバイク選手権大会・第1回ジュニアアジア マウンテンバイク選手権大会  
 開催場所 マレーシア・マラッカ  
 大会期間 2009年11月5日～8日 派遣期間 2009年11月4日～10日  
 代表選手団 監督 西井 匠 (MTB 小委員会委員・JCF 強化スタッフ)  
 メカニック 白井 三善 (JCF 強化スタッフ)・仁木 康夫 (JCF 強化スタッフ)  
 選手  
 XCO 男子エリート 山本 幸平 (北海道・チームブリヂストン・アンカー)・平野 星矢 (長野・BIKERANCH)  
 辻浦 圭一 (奈良・チームブリヂストン・アンカー)  
 XCO 女子エリート 片山 梨絵 (神奈川・SPECIALIZED)・中込由香里 (長野・SY-Nak SPECIALIZED)  
 DHI 男子エリート 永田 隼也 (神奈川・YETI/FFC)・井手川直樹 (広島・EVIL/SUNSPi.com)  
 DHI 女子エリート 末政 実緒 (兵庫・Fun Fancy/INTENSE)・飯塚 朋子 (大阪・team corrateg)  
 DHI 男子ジュニア 清水 一輝 (愛知・AKI FACTORY TEAM)

## JCFトラック・ロード 強化指定選手の追加

## トラック中距離

男子エリート 飯島 誠 (JPCA・チームブリヂストン・アンカー)

## ロード

男子エリート 西園 良太 (鹿児島・東京大学)

男子 U23 早川 朋宏 (愛知・法政大学)

女子 西 加南子 (千葉・TEAM FOCUS-OUTDOOR PRODUCTS)

第1回ユースオリンピック競技大会  
日本出場枠獲得

来年8月、シンガポールで「第1回ユースオリンピック」が開催され、自転車競技のほか全26競技が行われる。UCIから10月5日付で、日本が参加資格枠を獲得した旨通知があった。自転車競技は'92,'93年生まれの男女(17・18歳)が対象で、ロード・MTB・BMXの3種目の総合成績で競われる。男子3名、女子1名の計4名が国代表チームとして、32カ国が参加する予定。

## 日本新記録

## ■ チームスプリント・400m × 2

女子シニア 58秒723 鹿屋体育大学 (近藤美子、前田佳代乃) 2009/08/28 静岡・日本 CSC

## 連盟の動き (10月中旬～11月上旬)

10月7日	平成21年度第6回広報部会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
16日	第1回ジュニア・トラック強化合宿	於：静岡・日本 CSC、日本競輪学校(～18日)
26日	第3回ロード強化合宿	於：宮城・仙台大学ほか(～30日)
26日	09-10トラックワールドカップ第1戦日本選手団出発	於：イギリス・マンチェスター→帰国11/3
29日	第4回アジア BMX 選手権日本選手団出発	於：ホンコン・チャイナ→帰国11/1
31日	09年世界室内自転車競技選手権日本選手団出発	於：ポルトガル・タヴィラ→帰国11/11
11月4日	09アジアマウンテンバイク選手権日本選手団出発	於：マレーシア・マラッカ→帰国11/10

## &lt; JCF オフィシャル・スポンサー &gt;



## &lt; JCF オフィシャル・サプライヤー &gt;



シクリスムエコー No.164 2009年11月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/井関康正

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>